

授業科目 がん看護学実習Ⅱ	科目概要・形式 4単位 180時間 実習科目	配当年次 博士前期2年次 通年開講	オンライン参加 可・不可 「下記6, 7参照」
科目責任者	鳴井 ひろみ		
担当者	鳴井 ひろみ、本間 ともみ、三原 大佳 (非常勤)、町野 孝幸 (非常勤)、大串 祐美子 (非常勤)、二井矢 ひとみ (非常勤)、納谷 さくら (非常勤)		
1. 科目のねらい・目標 <ねらい> がん治療および緩和ケアを必要としているがん患者に対する診断、治療に伴う臨床判断の実際を臨床指導医の指導のもとに学び、がん治療および緩和ケアを必要としているがん患者の身体的管理方法・有害事象のアセスメント能力、高度な臨床判断能力を養い、高度実践看護師としての的確な臨床判断および直接ケアを行う能力を修得する。また、がん患者・家族とかかわる多職種との連携・協働における高度実践看護師としての役割について探究する。 <目標> 1) がん治療および緩和ケアを受ける患者の主訴や身体審査、検査データの所見などを統合し、診断や治療方針の決定に至るまでの臨床指導医が行う臨床判断過程を理解することができる。 2) これまでに学んだ医学的知識および診療技術を活用し、臨床指導医の指導のもとがん患者の身体状況を的確にアセスメントすることができる。 3) がんの進展や治療に伴う有害事象への対応などの患者に必要な医療処置を臨床指導医とともに特定し、臨床指導医との協働により身体的管理を行うことができる。 4) がん治療および緩和ケアを受ける患者の身体管理・症状緩和・治療遂行のために、既習の看護理論、診断や治療に関する専門知識をエビデンスとし、包括的なアセスメントを行い、必要なケア計画を立案し、高度な看護援助を実施・評価することができる。 5) がん患者・家族とかかわる多職種との連携・協働の実際を行うことができる。 6) 1)～5)を通して、高度実践看護師の役割開発について考察し、自己の課題を洞察できる。			
2. 授業計画・内容 <実習内容> 1) がん治療および緩和ケアを受ける患者の診断・治療に伴う臨床判断 がん治療および緩和ケアを必要としている患者に対して、臨床指導医の指導のもと、疾患および診断・治療に関する医学的知識に基づき、身体審査、検査データ等の客観的データおよび患者の症状等の主観的データを収集し、根拠に基づく的確な臨床判断を行う。 2) がん治療および緩和ケアを受ける患者の身体的管理 がん治療を受ける患者の症例カンファレンスや回診、また緩和ケアチームのラウンドやカンファレンスに参加し、臨床指導医の指導のもとに適切な臨床判断能力を養う。がんの進展やがん治療に伴う苦痛による身体的、心理社会的な影響について、臨床指導医のもとに的確な臨床判断を行い、実際の治療や有害事象への対応などの患者に必要な医療処置を医師との協働により行い、適切に身体的管理を行う。 3) がん治療および緩和ケアを受けるがん患者を受け持ち、包括的なアセスメントを行い、ケアとキュアを統合させた身体管理・症状緩和・治療遂行のためのケア計画をエビデンスに基づき立案し、患者の治療・療養過程を管理し、卓越したケアを提供し、評価する。 4) 多職種（医師・薬剤師等）と連携・協働した看護実践を行い、評価、考察する。 <実習場所> 東札幌病院			

<実習指導体制>

- 1) 教員は実習指導者（がん看護専門看護師・臨床指導医）と連携して、実習記録およびカンファレンス内容を指導する。
- 2) 教員は、受け持ち患者の主治医、実習調整担当者、実習病棟看護責任者、実習指導者（がん看護専門看護師・臨床指導医）と連携し、学生の教育環境を調整する。
- 3) 実習指導者（臨床指導医）は、受け持ち患者の主治医、緩和ケアチームに関わる多職種と連携し、患者アセスメントおよび医療ケア全般を指導する。
- 4) 実習指導者（がん看護専門看護師）は、学生が行う受け持ち患者への身体・治療管理および療養支援の過程における高度な看護実践の提供について助言・指導する。
- 5) 実習指導者（がん看護専門看護師）は、患者と関わる多職種と連携し、カンファレンスおよびディスカッション内容について指導する。
- 6) 教員および実習指導者（がん看護専門看護師・臨床指導医）は、受け持ち患者の事例分析の過程およびケースカンファレンス内容をスーパーバイズする。

3. 教科書、参考書

指定しない。実習状況によって随時、提示する。学内での既習事項を各自で効果的に活用すること。

4. 成績評価方法

実践（65%）、実習への取り組み状況（5%）、がん治療および緩和ケアを受ける患者の診断・治療過程における高度実践看護師の役割の考察に関するレポート（30%）を総合して評価する。

5. 受講要件

CNS（専門看護師）コースがん看護の学生は必修

6. 社会人学生に対する配慮

個別指導については日時およびオンライン対応等の相談に応じる。

7. その他

- ・既習事項を活用して事前学習を十分に行い、主体的に実習に臨むこと。
- ・カンファレンスや個別指導は状況に応じて Webex meeting または Zoom を用いてオンラインで実施する。
- ・オンデマンドの実施不可